



すみれ通信

2021年 3月 第6号



今年度のクラス通信も、ついに最終号となりました。4月からは、ついに保育園最後のゆり組になりますね。いろいろな場面で、「もうすぐゆり組」という言葉が出てきますが、あまりプレッシャーにならないよう、残りのすみれ組を楽しめるようにしたいと思います。保護者の皆様からも、「うちの子、ゆり組で大丈夫かな…」と心配する声も聞かれますが、大丈夫ですよ！もしお子さんが不安そうな姿を見せていたら、「大丈夫！」と背中を押してあげてくださいね。

『経験』がとても生きています

先日、メダルを持ち帰ったかと思えます。昨年末頃から毎日練習に取り組んできた、なわとびの成果を発表した、なわとび会のご褒美です。

1月は、『目標に向かって頑張る』ことをねらいとして進めてきました。第一段階は自由に跳ぶ、第二段階は回数を指定して跳ぶ、第三段階は自分で目標回数を決めて跳ぶ…当日は少し緊張した姿が見られましたが、それぞれ練習の成果が発揮できていたと思います。

そしてなわとび会が終わった2月は、『経験したことを継続して取り組む』ことをねらいにしてみました。なわとび会が終わった次の日、「なわとびやってもいい？」という声があり、一人が挑戦するとどんどん人数が増え…しかも、なわとび会から数日しか経っていないのに、ものすごく回数の増えている子が多くなりました。当日の雰囲気から、いろいろな刺激をもらったのだと思います。

何かを継続して取り組むことは、言われてするのでは意味がありません。自分で楽しんで取り組めるきっかけを、残り一ヶ月でもたくさん経験して欲しいと思っています。

作品展も良い経験でした

すみれ組の作品、いかがでしたか？

バランスが取れず、うまく立たない作品もあったかと思えます。色が所々白く、

塗れていないところがあったかと思えます。でもそれは、100パーセント自分の力で仕上げた証拠です。手伝いたい気持ちをグッと我慢して、子ども達に任せてみました。それは、とても時間のかかる作業です。でもその分、仕上がった時の達成感は、一人で仕上げた方が何倍も何十倍も感じられるでしょうね。

作った動物に色を塗る時に「濃いピンクがいい」「もっと薄い青」等、いろいろなイメージする色があることに驚かされました。言われた色をすぐに作る担任を見て、「魔法使いみたい」と。私たちも楽しく進めることが出来ました。

作品展が終わってから、自由あそび中に土台を出しています。作品展とは違った動物を粘土で作り、土台に並べては楽しんでいます。



一年間 お世話になりました

今年度は新型コロナウイルス感染症が大流行し、多くの行事がなくなってしまいました。唯一、園生活を見ることの出来る保育参観もなく、園での生活をどんな風に過ごしているか、不安もあったことと思います。でも子ども達は何も変わらず、着々とゆり組に向けて成長しています。ゆり組になると、一人の力ではなく、みんなでやり遂げる力=『協調性』が大切になってきます。少しずつ、クラスの団結力は強くなっています。来年度、どんな姿を見せてくれるのか本当に楽しみです。至らない点も多々あったことと思いますが、ご支援・ご協力いただきありがとうございました。更なる成長を応援しています。大変お世話になりました。